



インキュベーションセンターに入居するF-Designの社内風景。近代的なイメージのあるオフィスで、ベンチャー企業が育っています。

藤本代表が目指している会社のレールとして、自社製品の開発があります。

### 会社としての想い

「学生さんに向けてのメッセージ」などはありますか?」という問い合わせに対し、「やりたいと思えば、自分の活躍で

シャーがあつて精神的に厳しかった」と藤本代表。日々、模索しながらの仕事が続きました。

その中で、「ビジョンを持ち行動する」ということを継続し、見事35歳のときに当社を立ち上げることができたのです。

これまでの車の設計開発で培った幅広い経験に裏打ちされた設計が、この企業は経済という荒波をしっかりととした指針を持って渡っています。その航海で使っている羅針盤を今回は探つてみたいと思います。

受注業務は、大手企業からの発注增加という環境変化の後押しもあり、順調に伸びていきました。藤本代表は「一步一歩石橋を叩きながら進んでいたら、6年もたつてしまつた」とコメントしますが、一人の技術者が始めた会社が、従業員7名、契約社員4名、ペトナムの設計契約企業を含わせると総勢20名を超える設計集団となっていました。

今では得意の車関連の事業以外にも、医療・アミューズメント・一般機器・3次元での設計など事業の幅も出てきました。

また単なる設計を請け負う会社ではなく、企画から参加して顧客提案する企業へと変化しつつあります。

### 将来の想い

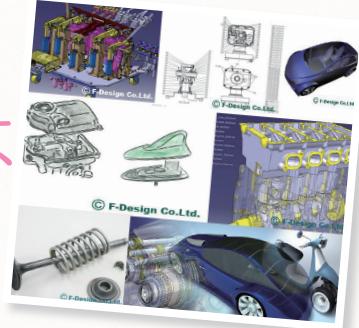
「学生さんに向けてのメッセージ」などはありますか?」という問い合わせに対し、「やりたいと思えば、自分の活躍で

株式会社 F-Design  
神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21 SIC1-202  
TEL 042-707-7139 FAX 042-770-9207  
<http://f-ds.jp>



## 株式会社 F-Design

# 夢を持った経営とは



取材・文 草野 愛

### 起業というビジョン

藤本介代表取締役は学生時代から、ある希望を持っています。

若くて小さい企業はよく周りの環境変化の波に翻弄されるものです。が、この企業は経済という荒波をしっかりととした指針を持って渡っています。その航海で使っている羅針盤を今回探つてみたいと思います。



入社した会社での仕事を多種多彩。その中で、念願のレーシングカーの設計・開発にも携わることができます。社会人10年目までに、設計・開発に関する多様な経験を積み、予定したとおり独立、個人事業を始めました。しかし、このとき今まで技術系の仕事しかしなかつた藤本代表に、経営・経理・営業などの未経験であった業務が一齐に押し寄せてきたのです。



「当初は本当にやつていけるかどうか不安で、凄いプレッ



### 若くて小さいベンチャー

株式会社 F-Design は中小企業のインキュベーション(起業・創業支援施設)である「株式会社さがみはら産業創造センター」に入居する若いベンチャー企業です。

自分はレースが好き。そんなレースに携われる仕事がしたい。

卒業と同時に車の設計をメインとする企業で技術を磨きます。

人生のビジョンがありました。それは社会人10年で独立を、その後35歳で会社を作るというものです。

当社ではこの言葉が実践されています。資金もなかなか余裕がつかないベンチャー企業としては、政府からの開発助成金獲得なども視野に入れつつ、新しい製品を開発するための作業を日々行なっています。医療・福祉・災害対応など多々挙がってきた新製品開発テーマから、現在は福祉分野での新製品を設計する方向で動いています。社員も日々の忙しい業務の中から、この新製品開発の時間を捻り出しています。取材させていた

だき、チームの意気は高く、素敵な製品が生まれ出されるのではないか期待を持ちました。「3年後くらいには自分たちの製品を持つ予定」と藤本代表は話します。

「5年か10年先には20名から30名程度のこじんまりした会社で、こだわりの製品を独自ブランドで世に出せたらしいな」ビジュンのしつかりしたこの企業はこれからも想いを形にしていくことでしょう。